

令和7年度 子どもの声を聴く取組の実施状況

1. こどもいつでも意見箱

市が進める子どもに関する取組について、子どもたちが自らの意見をインターネット上でいつでも市に伝えることができる取組として、「こどもいつでも意見箱」を開設。小学1年生から5年生にはチラシを配布し、小学6年生から高校生には「大牟田市こども計画パンフレット」を配布することで周知。

- 実施期間：令和7年5月1日～
- 意見提出数：88件 ※8月8日現在
- 子どもたちからの主な意見

- ・公園に関すること 26件
 - 遊具を増やしてほしい、大きい公園を近くに作ってほしい 等
- ・子どもの居場所（公園以外）に関すること 19件
 - 近くにこどもが遊べる（または勉強できる）場所がほしい 等
- ・学校に関すること 12件
 - 好きな図書を置いてほしい、いじめをなくしたい 等
- ・その他
 - 通学路を明るくしてほしい、習い事などをもっと知りたい、川や道路をキレイにしてほしい、まちや公園にゴミ箱を置いてほしい 等

2. 市長による「まちづくり出前授業」(小学5, 6年生対象)

市内全ての小学校を対象に実施。2年で全ての学校を回ることとしており、今年度は昨年度実施しなかった小学校9校を対象に実施。昨年度までは、大牟田市の特産物や市内企業等について市長が紹介する授業だったが、今年度から2部構成とし、後半で子どもたちから市長へ直接意見や質問をする時間を設けている。

- 今年度の対象校と実施日
 - 倉永5/19、吉野5/28、天領7/3、大牟田中央7/8、上内7/14、
 - みなと7/15（今後の予定：銀水10/31、駛馬11/12、手鎌11/20）
- 子どもたちからの主な意見

- ・近くに図書館があると嬉しい。
- ・新大牟田駅の周りに楽しめる場所を作してほしい。
- ・小学校の体育館にクーラーをつけてほしい。
- ・公園に自転車置き場を作してほしい。
- ・動物園の動物をもっと増やしてほしい。

3. 中学生と市長との意見交換会

市内の中学校（特別支援学校は除く）から、代表者を2～3名選出して同一会場に参集してもらい、市長との意見交換会を開催。2部構成とし、第1部で生徒同士でのグループワークを行い、第2部で第1部にまとめた意見の発表と市長との意見交換を実施。なお、中学生が話しやすいようにテーマを設定し、事前に参加者に伝えた上で、テーマに沿ったワークシートを活用。

- 実施日：8月6日（水）※出校日の午後
- 参加者：27名 ※私立を含む市内全9校から各3名
- テーマ： 大牟田の魅力をもっと伝えるためにできること、
「こどもがもっと住みやすい、住み続けたいまちになるためにできること」
- 子どもたちからの主な意見

「大牟田の魅力をもっと伝えるためにできること」
・ SNSを活用する ・ イベントで大牟田出身の有名人を呼び、その人にSNSで発信してもらう ・ ラジオやポスターを活用する ・ 市ホームページ等で子ども自身が魅力を伝える ・ 中学生全員でまちの清掃をする（清掃デイを作る）
「こどもがもっと住みやすい、住み続けたいまちになるためにできること」
・ 魅力や良いところが伝わっていないので、SNSの運営などで発信する ・ 自然や遺産を守るために清掃活動をする ・ まちが暗いので、街灯ではなく、若者がお店を開くための援助をする ・ 交通が不便なところがあるので、バスの本数や路線の増加をお願いしてほしい ・ 放置竹林への対策として、竹を基調にしたデザインを取り入れる